

令和7年2月6日
子ども・若者部
教育委員会事務局

民設民営放課後児童健全育成事業の整備・運営事業者の決定について

1 主旨

区では、新BOP学童クラブの大規模化等の解消に向けて、区からの補助による民設民営放課後児童健全育成事業（以下「放課後児童クラブ」という。）の整備を進めるため、運営事業者が確保すべき支援の質を定める「運営方針」等を理解し、区の事業に積極的に協力できることなどを要件とする募集要項のもと公募を行ったところ、1事業者からの提案があり、選定委員会での審査結果を踏まえ、当該提案について採択し、整備・運営事業者として決定したので報告する。

2 採択した事業者及び提案施設

整備・運営事業者	提案施設の概要	優先 受入校
名 称：株式会社チャイルドビジョン 所 在 地：東京都港区芝5丁目20番9号 東化ビル5階 代 表 者：代表取締役 竹居 正	所 在 地：上祖師谷3丁目19番23号 建築構造：木造地上2階建 建築面積：約124㎡ 延床面積：約236㎡ 予定定員：80人 現 況：建物あり （建物解体後、整備へ） 開設時期：令和8年4月（予定）	塚戸 小学校

※対象児童・・・小学校1年生から3年生。ただし、心身の発達等により、個別的配慮が必要な状態にある児童は6年生まで。（新BOP学童クラブと同様）

3 経過

令和6年 9月27日 応募締め切り
 9月30日～ 書類審査及び現地調査・ヒアリング審査
 11月29日 選定委員会において整備・運営事業者を選定
 12月22日 整備・運営事業者の決定

4 評価

（1）基本方針

「放課後児童クラブ運営指針」、「世田谷区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例」、「世田谷区放課後児童健全育成事業の運営方針」等を理解したうえで、世田谷区において新たな民設民営放課後児童クラブを運営する意欲と熱意を有するとともに、質の維持・向上ができる事業者であることを基本とし、主に次の点を重視して選定を行う。

評価項目	評価内容	
事業者の 理念	放課後児童健全育成事業の 理念・公共性・公益性を持	事業者から提出された資料及び法人の経営に携わる責任 者、事業所の運営にかかる責任者等とのヒアリング内容

	ち、社会的責任を担っている事業者であること。	から、放課後児童クラブとしての社会的責任や地域における役割に関する考え方等について、評価・審査を行う。また、子どもの権利条約や世田谷区子ども条例を踏まえ、子どもの最善の利益を考慮した理念や事業内容となっているかについても評価・審査を行う。
事業の安定性・継続性	運営にあたっての安定性・継続性が担保されていること。	事業者の財務状況等について公認会計士による財務内容の確認を行うことで、子どもや保護者が安心して支援を享受し続けることができるかについて評価・審査を行う。
運営管理体制	職員や利用者、外部の意見を取り入れるなど、開かれた運営がなされていること。	内部の意見のみによる運営ではなく、客観的な外部の意見等を運営にフィードバックさせることや、現場からの意見が経営層の判断に反映される仕組みづくりがなされているかどうかについて評価・審査を行う。
質の確保	「世田谷区放課後児童健全育成事業の運営方針」や区の目標を理解した上で、子どもの最善の利益や子どもの成長と育ちを尊重し、子どもの視点に立った支援を実施しており、区の理念や目標も理解していること。	事業者が現に運営している事業所の現地調査を行うとともに、日々の活動内容や支援方法などを把握できる資料により、運営内容について評価・審査を行う。
人材の確保・育成・継続年数	計画的な職員採用・人材育成により、質の高い職員が確保されていること。	採用方法や異動に伴う既存事業所への影響を注視しながら、提案事業所に配置を予定する職員の年齢・継続年数等のバランスについて評価・審査を行う。また、職員に対する処遇や研修の状況から、能力を高めながら働き続けることのできる環境の整備等についても評価・審査を行う。

この他、「配慮を要する子どもへの支援」、「児童虐待等、特別な配慮を必要とする子どもへの支援」、「保護者との連携」、「地域資源開発・地域連携」「関係機関との連携等」等についても評価・審査を行う。

(2) 審査方法

① 書類審査

応募書類に関する書類審査及び公認会計士による財務状況に関する審査を行った。

② 現地調査・ヒアリング審査

事業者が運営する放課後児童健全育成事業の現地調査並びに施設長候補者等に対しヒアリング審査を実施した。

③ 総合評価

書類審査及び現地調査・ヒアリング審査の結果を基に、総合的に評価したうえで整備・運営事業者を選定した。

5 審査結果

(1) 書類審査及び現地調査・ヒアリング審査

事業者名	書類審査 評価点数 (満点108)	財務 審査	現地調査 評価点数 (満点132)	ヒアリング審査 評価点数 (満点112)	総合 評価点数 (満点352)
株式会社 チャイルドビジョン	80.0	B	99.0	72.3	251.3 (71.3%)

※事業者の選定にあたっては、総合評価点数が満点の7割を超えることを基本とし、質の確保や提案の実現性などを総合的に判断している。

※財務審査の指標は以下のとおりであり、C以下の評価の場合は選定しない。

- A：おおむね良好な法人と考えられる B：ほぼ平均的な法人と考えられる
C：改善を要する法人と考えられる D：破綻状態にある法人と考えられる

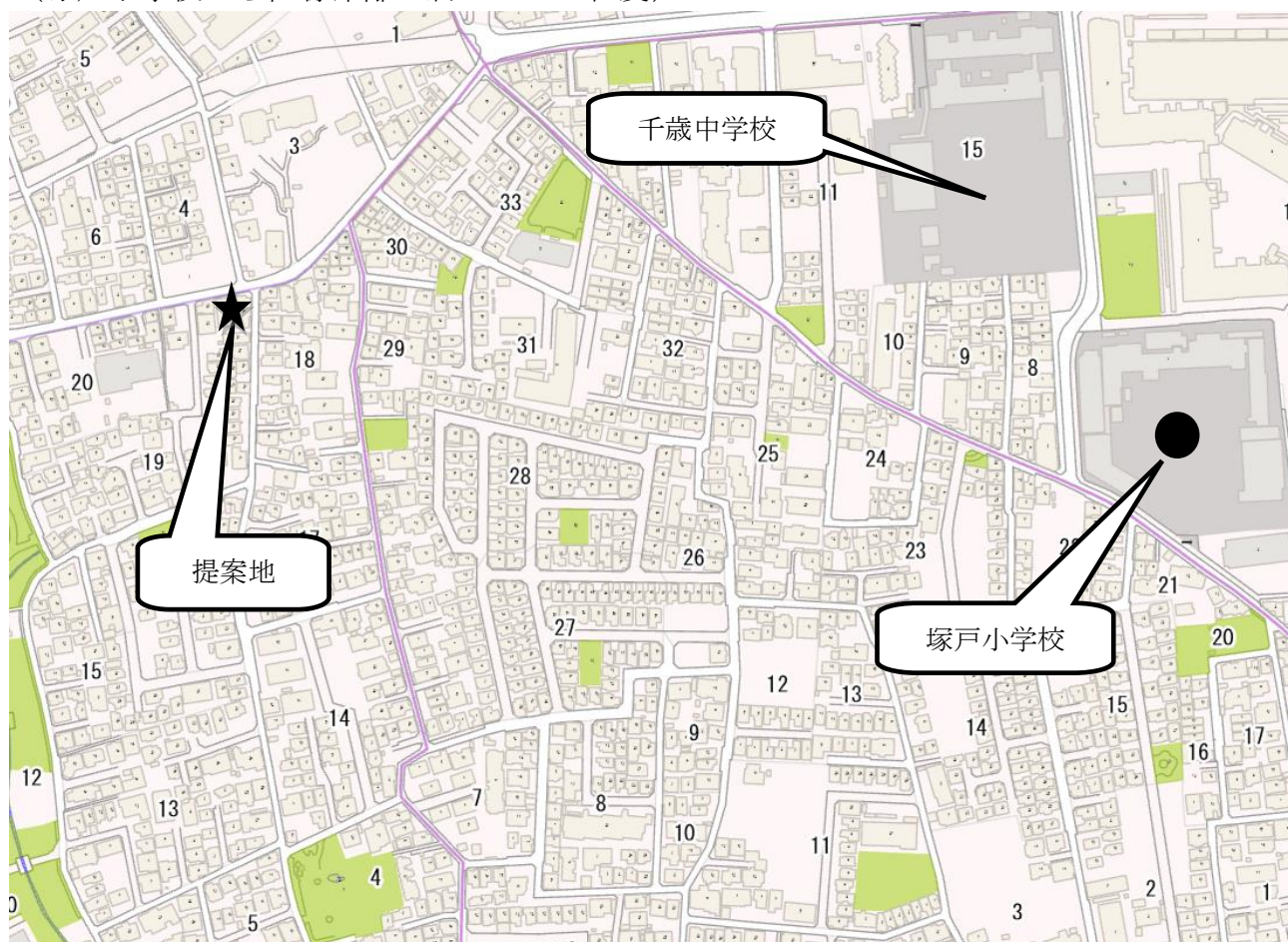
(2) 総合評価

現在運営している施設では、子どもたちとの遊びの中から手作りのおもちゃを用意するなど、子どもたちの生活をよく見ながら保育を考えている様子が確認できた。審査の結果、開設までに新BOPや既存の民設民営放課後児童クラブ等を訪問・見学し、新BOPの現状や民設民営放課後児童クラブに求められる環境設定を研究し、それをふまえた空間づくりを行うこと等を条件に附し、本提案を採択できるとの評価に至った。

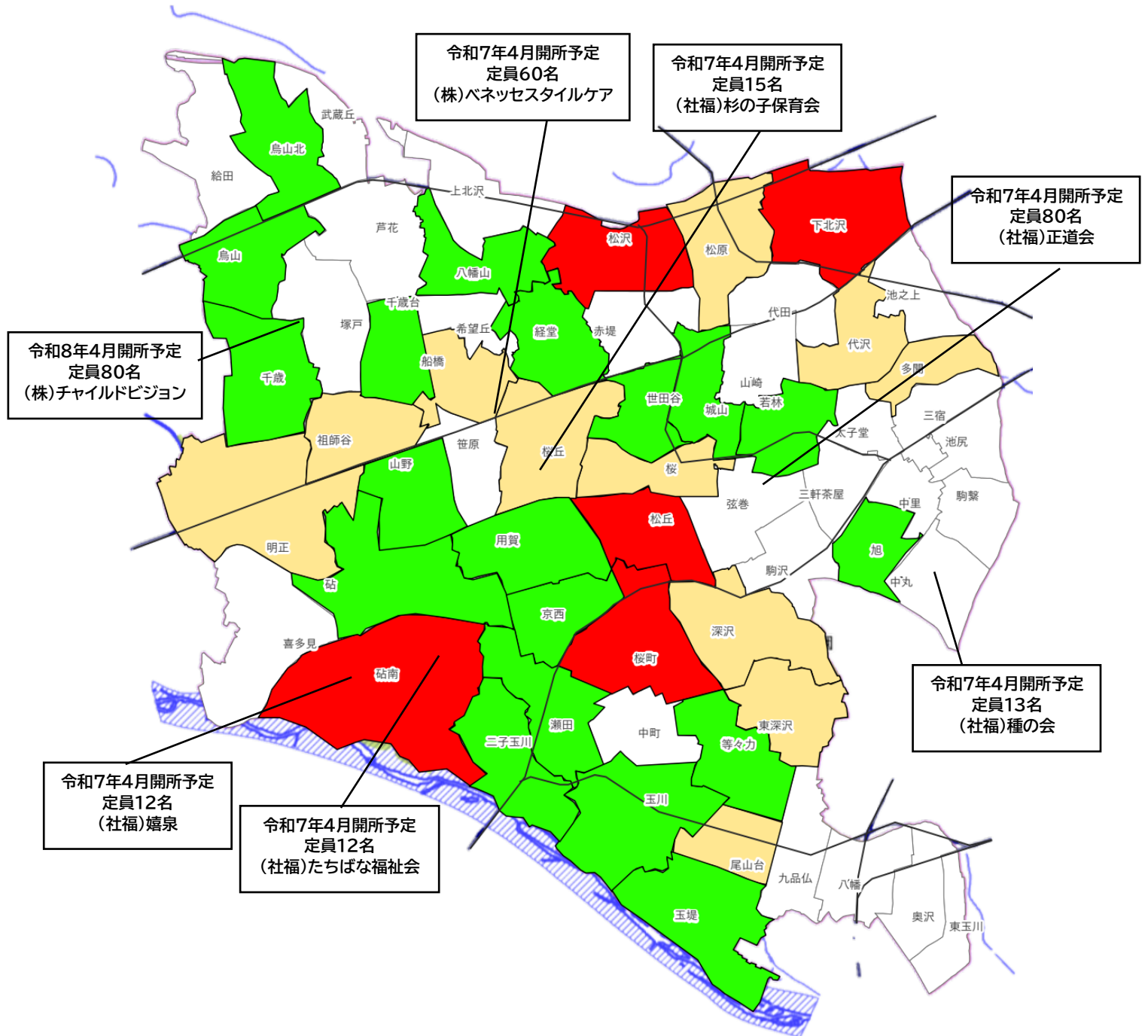
6 選定委員会の構成

委員長 齋藤 史夫（東京家政学院大学 元准教授）
副委員長 佐藤 晃子（川口短期大学 准教授）
委員 寺西 直樹（子ども・若者部児童課長）

【参考】提案地：上祖師谷3丁目19番23号
(塚戸小学校から直線距離で約550m程度)



【参考】整備優先度マップ



色	優先度	認められる整備手法
赤	高	提案型・認可保育所活用型
黄	↑	提案型・認可保育所活用型
緑	↓	認可保育所活用型
白	低	—

※「整備優先度マップ」はあくまで困窮している学区を表現しており、民設民営放課後児童クラブの整備誘導を図る場所については、当該小学校から概ね半径 800m 圏内とする。ただし、「大規模化・狭隘化の解消への寄与度」「送迎の安全性」などに懸念のある物件の場合、半径 800m 圏内でもお断りすることがあります。